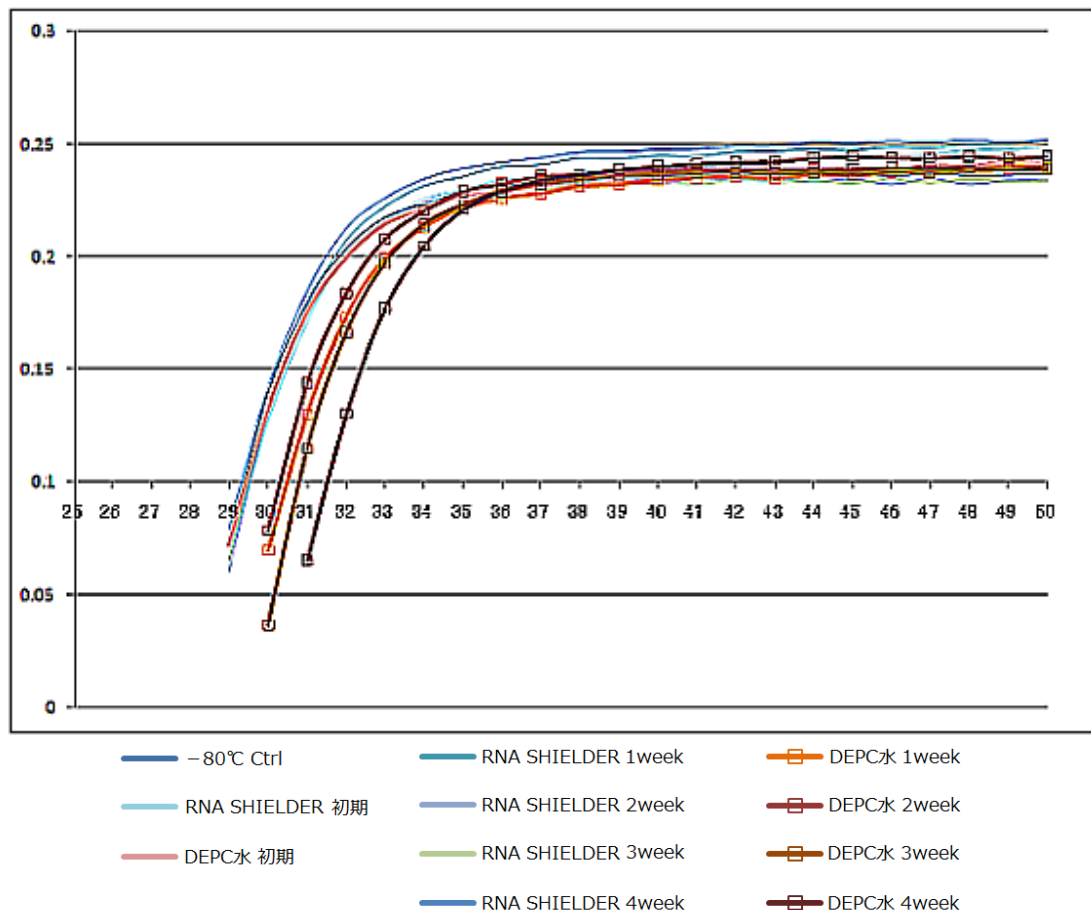


■ totalRNA 保存試験データ

RNA SHIELDER によって 4°C保存された totalRNA を用いた PCR データです。保存試験に使用する totalRNA は K562 培養細胞から一般的な抽出キット・精製キットを用いて準備しました。totalRNA 濃度が 10 ng/ μ L の濃度となるように、RNA SHIELDER、DEPC 水を用いて、RNA SHIELDER(+)と(-)のサンプルを準備し、それらのサンプルを冷蔵 4°Cにて保存しました。各経時変化の測定ポイントで冷蔵 4°Cの保存サンプルから一定量を採取し、20 μ L 系で逆転写を行いました。その逆転写物に対して加水分解プローブを用いた PCR を行い、Cp 値の経時的变化を確認しました。PCR は GAPDH、TERT、BCR/ABL、WT1 の 4 種の遺伝子それぞれに対して行いました。以下に BCR/ABL 遺伝子についての保存試験の結果を示しました。

【測定遺伝子：BCR/ABL 4°C保存】



RNA SHIELDER(-)の DEPC 水のみ保存液は RNA が徐々に分解し Cp 値が経時的に増加していることがわかります。一方 RNA SHIELDER(+)の RNA 溶液では Cp 値が-80°Cコントロールの Cp 値からほとんど変動がなく、分解が抑制されていることがわかります。